

春日井市交響楽団

KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA



ヴァイオリン独奏
ライナー・キュッヒル
(ウィーン・フィル コンサートマスター)



指揮
吉住 典洋



オーケストラ
春日井市交響楽団

第13回定期演奏会

2004年7月4日(日) 午後2時15分 開場
午後3時 開演

春日井市民会館

曲目

スメタナ 作曲
モルダウ

ベートーヴェン 作曲
ヴァイオリン協奏曲

ドヴォルザーク 作曲
交響曲第9番「新世界より」

入場料 前売券 1,000円 当日券 1,500円(全自由席)

入場券：5月20日(木)より 市民会館、文化フォーラム春日井文化情報プラザ、市役所情報コーナー、味美・高蔵寺・南部・西部ふれあいセンター、坂下公民館、清水屋案内所、サンマルシェ案内所、ルネック7階管理事務所で販売

問い合わせ 春日井市交響楽団事務局 (0568) 51-1111 (代) 春日井市文化課 (0568) 85-6079

主催：春日井市交響楽団 共催：春日井市 後援：愛知県教育委員会、(財)かすがい市民文化財団、春日井市教育委員会、中日新聞社

ごあいさつ

春日井市交響楽団団長 花村 浩克

Hirokatsu Hanamura



私たちアマチュア演奏家が神さまのように尊敬しているウィーン・フィルのライナー・キュッヒルさんと春日井市交響楽団の共演が実現します。それも、ウィーンで初演されたベートーヴェンの「ヴァイオリン協奏曲」です。まるで夢のようです。若くして世界最高峰のオーケストラのコンサートマスターになったキュッヒルさんのお顔は、TVのウィーン・フィルのチューイヤー・コンサートでも長くおなじみです。奥さまが日本の方なのも嬉しいことです。

「春日井で名曲の名演奏を」を目標に頑張っている私たち春日井市交響楽団にとって、願ってもない機会です。さらに、吉住典洋先生の指揮で、今年没後120年のスメタナの「モルダウ」と今年没後100年のドヴォルザークの「交響曲第9番：新世界」も演奏します。

話題の多い第13回定期演奏会に、ぜひ、おそろいでお出かけ下さい。お待ちしております。

ライナー・キュッヒル [ヴァイオリン]

Rainer Kuchl



ウィーン・フィルハーモニーのコンサートマスター。

1950年オーストリアのヴァイトホーフェン・アン・デア・イブス生まれ。11歳よりヴァイオリンを始める。

1964年ウィーン国立音楽院に入学し、サモヒル教授に師事。

1971年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。

1967年よりソロ活動を開始し、ウィーン・フィル、ウィーン交響楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、NHK交響楽団などのオーケストラ並びに指揮者では、アバド、バーム、バーンスタインらと共演。同時に数々のリサイタルや放送録音を行なう。オーストリア共和国よりオーストリア芸術名誉勲章を受賞をはじめ数々の賞に輝いている。

吉住 典洋 [指揮]

Norihiro Yoshizumi



愛媛県今治市生まれ。愛知県立芸術大学管打楽器コースを卒業、研究生を経て同大学大学院音楽研究科終了。サクソフォンを永岡嘉夫、雲井雅人、室内楽を菅原眸、中川良平、村田四郎、オーケストラ・レパートリーを中川良平の各氏に師事。同大学定期演奏会には、J.S.Bach/NakagawaのMarcello Concerto III BWV974のソリストとしてソプラノ・サクソフォンを演奏、好評を博した。よんでん文化振興財団奨学金を受賞。在学中より指揮者としての活動を開始、名古屋二期会において外山雄三氏のもとでアシスタントとしての研鑽を積む。以後「中川良平のTokyo BACH-BAND」、日生劇場オペラ名古屋公演など、佐藤功太郎、古谷誠一、松尾葉子、竹本泰蔵、現田茂夫、沼尻竜典各氏のアシスタントを歴任する。またその間も自らのタクトでオーケストラや合唱など数々の音楽愛好団体と共演、1998年からはセントラル愛知交響楽団、2000年から名フィルユニオンコンサートに出演する。1999年、アシスタントとして入っていた名古屋市文化振興事業団主催「かるめん・じょんず」(原作G.Bizet Carmen)の最終日公演において急速指揮を命ぜられビット・デビュー、好評を博した。最近では春日井オペラ八百比丘尼物語初演を、アンサンブル・セルメルとStravinskyの兵士の物語を指揮するなど、意欲的な活動を見せている。

現在、愛知県立芸術大学、愛知県立明和高等学校音楽科各非常勤講師。

春日井市交響楽団 [オーケストラ]

Kasugai City Philharmonic Orchestra

市民オケである春日井市交響楽団は、第九の演奏会を春日井でも開きたいという市民の要請から生まれました。それを受けて、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年(平成2年)11月に創立されました。

愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo: 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにとって最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。また、「春日井の海外に開かれた窓」となっている国際的な音楽家との共演にも努めています。

これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。

温かいご支援をお願いいたします。

平成15年度 春日井市交響楽団役員及び特別職名簿

平成16年3月現在

■ 名誉会長	鶴飼 一郎	(春日井市長)	■ 理事	荒川 昭代	(春日井第九合唱団顧問)
■ 名誉副会長	伊藤 太	(春日井市議会議長)	■ 理事	渡辺 茂	(市内金融協会長・㈱JF銀行春日井支店長)
■ 名誉顧問	川口 将一	(春日井商工会議所名誉会頭)	■ 理事	石原 一則	(尾張中央農業協同組合高蔵寺地区事業本部代表理事)
■ 顧問	松本 重雄	(春日井市教育長)	■ 理事	伊藤 園子	(いとう幼稚園理事長)
■ 顧問	川崎 正彦	(春日井商工会議所会頭)	■ 理事	伊藤 友彦	(尾張中央農業協同組合春日井地区事業本部代表理事)
■ 顧問	佐々木 侂利子	(ピアニスト)	■ 理事	犬飼 武	(春日丘中学校・春日丘高等学校長)
■ 顧問	杉谷 昭子	(ピアニスト)	■ 理事	岩田 光義	(中部楽器技術専門学校理事長)
■ 顧問	宮地 清恵	(春日井市助役)	■ 理事	大原 泰昭	(春日井青年会議所理事長)
■ 会長	三浦 昌夫	(中部大学学監)	■ 理事	大谷 勉	(春日井市内県立校長会)
■ 副会長	山崎 霊信	(春日井市文化協会長)	■ 理事	加藤 十九二	(市内小中学校校長会)
■ 副会長	富田 君子	(元春日井市教育委員)	■ 理事	川辺 秀晃	(春日井ライオンズクラブ会長)
■ 理事	長縄 功	(発起人代表)	■ 理事	寺倉 勇	(春日井ロータリークラブ会長)
■ 常任理事	荒川 昭	(春日井商工会議所専務理事)	■ 理事	清水 貴子	(「花の詩」コンサートグループ会長)
■ 常任理事	藤田 康幸	(春日井市企画調整部長)	■ 理事	日比 英一	(万博空港対策室長)
■ 常任理事	都築 正道	(音楽監督・中部大学教授)	■ 理事	根本 正治	(春日井市民音楽連盟会長・春日丘高等学校教諭)
■ 常任理事	下田 秋吉	(春日井建設協会長・㈱秋吉組代表取締役)	■ 理事	湊 哲也	(春日井けやきライオンズクラブ会長)
■ 常任理事	花村 浩克	(団長・春日井整形外科病院長)	■ 理事	森 正勝	(春日井中央ライオンズクラブ会長)
■ 常任理事	若月 剛一	(77土土木(株)代表取締役)	■ 監事	木野瀬 吉孝	(木野瀬印刷㈱代表取締役)
■ 理事	上田 康平	(中日新聞春日井支局長)	■ 監事	東海林 昌治	(秋田県人会相談役・矢留工業㈱代表取締役会長)